

淡江大學 99 學年度第 1 學期課程教學計畫表

課程名稱	第二語言習得研究 (一)	授課 教師	堀越和男 Horikoshi Kazuo
	SECOND LANGUAGE ACQUISITION RESEARCH (I)		
開課系級	日文二碩士班 A	開課 資料	選修 單學期 2學分
	TFJXM2A		
學系(門)教育目標			
<p>本系碩士班之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 培養具備良好日語表達能力之人才。 2. 培養日本文學相關領域之研究人才。 3. 培養日本語學、日語教育相關領域之研究人才。 4. 培養日本文化相關領域之研究人才。 5. 培養具有國際觀及獨立思考之人才。 			
學生基本能力			
<ol style="list-style-type: none"> A. 具備高階日語語言能力（含聽、說、讀、寫、譯）。 B. 具備深入理解日本文學之專業知識。 C. 具備深入理解日本語學、日語教育之專業知識。 D. 具備深入理解日本文化之專業知識。 E. 具備使用工具書蒐集資料、以及專業書面與口頭報告之能力。 F. 具備專業學術論文寫作之能力。 G. 具備專業翻譯就業之能力。 H. 具備獨立及創新思考之能力。 			
課程簡介	<p>所謂的第二言語習得為何之基礎問題(學習者如何學習目標言語, 以及對習得知影響因素為何, 是否會有不同的教學方法產生, 學習者的母語是否會影響, 第一言語習得與習得之過程是否有異等)將以此為其學習重點。</p>		
	<p>第二言語習得とは何かという基礎的な問題 (学習者が目標言語をどのように習得していくのか、その習得に影響を与える要因は何か、教え方で違いが生まれるのか、学習者の母語は影響があるのか、第一言語習得と習得のプロセスに違いがあるのか等) について中心に学ぶ。</p>		

本課程教學目標與目標層級、學生基本能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「學生基本能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應該系「學生基本能力」。單項教學目標若對應「學生基本能力」有多項時，則可填列多項「學生基本能力」(例如：「學生基本能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列)。

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	學生基本能力
1	①第二言語習得研究の基礎知識を身につけ、専門的な論文を読めるようにする。 ②自ら調査し、日本語で意見を述べたり、発表する能力を身につける。		C2	ACEFGH

教學目標之教學策略與評量方法

序號	教學目標	教學策略	評量方法
1	①第二言語習得研究の基礎知識を身につけ、専門的な論文を読めるようにする。 ②自ら調査し、日本語で意見を述べたり、発表する能力を身につける。	課堂講授、分組討論、発表	出席率、報告、討論

授課進度表

週次	日期	內容 (Subject/Topics)	備註
1	09/13	教学大綱說明	
2	09/20	第1章 第二言語習得研究はなぜ必要か	
3	09/27	第2章 2.1 対照分析研究 2.2 誤用分析研究	
4	10/04	第2章 2.3 中間言語研究	
5	10/11	第3章 3.1 文化変容モデル 3.2 普遍文法理論	
6	10/18	第3章 3.3 モニターモデル	
7	10/25	第3章 3.4 有標性差異仮説 3.5 コンペティション・モデル	

8	11/01	第4章 4.1 中間言語と変異	
9	11/08	第4章 4.2 第二言語習得にかかわる知識と能力	
10	11/15	第4章 4.3 自然な習得順序	
11	11/22	第4章 4.4 言語転移	
12	11/29	第4章 4.5 外国語習得と第二言語習得	
13	12/06	第4章 4.6 学習環境の違いと第二言語習得	
14	12/13	第4章 4.7 学習者の様々なストラテジー	
15	12/20	第6章 6.1 研究の方法 6.2資料収集の方法	
16	12/27	第6章 6.3 レベルの判定	
17	01/03	第8章 8.1 学習者言語の変化 8.2第二言語習得研究と日本語指導	
18	01/10	第8章 8.3 学習者に求められる日本語教師	
修課應注意事項	この授業は、毎回決められたテーマに沿って学生が調査、発表を行い、そしてそれについて全員で討論するといった形で進めていく。		
教學設備	電腦、投影機		
教材課本	迫田久美子『日本語教育に生かす第二言語習得研究』（アルク）		
參考書籍	隨時指示する		
批改作業篇數	篇（本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫）		
學期成績計算方式	◆平時考成績： % ◆期中考成績： % ◆期末考成績： % ◆作業成績： 50.0 % ◆其他〈レポート〉：50.0 %		
備考	「教學計畫表管理系統」網址： http://info.ais.tku.edu.tw/csp 或由教務處首頁〈網址： http://www.acad.tku.edu.tw/index.asp/ 〉教務資訊「教學計畫表管理系統」進入。 ※非法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿非法影印他人著作，以免觸法。		